

2022年10月31日

上場会社名 京成電鉄株式会社

上場取引所 東

コード番号 9009 URL <https://www.keisei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 敏也

問合せ先責任者 (役職名) 経理部連結・IR課長 (氏名) 浅岡 祐介

TEL 047-712-7100

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日

配当支払開始予定日

2022年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	119,031	14.3	4,401		10,329		15,597	
2022年3月期第2四半期	104,156	4.7	3,727		6,801		7,786	

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 17,018百万円 (%) 2022年3月期第2四半期 7,472百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	94.13	
2022年3月期第2四半期	46.20	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	950,277	399,846	40.4
2022年3月期	900,346	387,705	41.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 384,336百万円 2022年3月期 369,764百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		8.50		8.50	17.00
2023年3月期		8.50			
2023年3月期(予想)				8.50	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	272,200	27.1	21,500		27,700		18,700		110.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 新京成電鉄株式会社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	172,411,185 株	2022年3月期	172,411,185 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	4,927,976 株	2022年3月期	3,877,009 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	165,700,763 株	2022年3月期2Q	168,533,608 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.本資料に記載されている将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は異なる結果となる場合があります。なお、連結業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1.(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2.四半期決算補足説明資料は、当四半期決算短信に添付しております。

3.当社は、2022年11月15日(火)に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P2
(1) 経営成績に関する説明	P2
(2) 財政状態に関する説明	P3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P4
(1) 四半期連結貸借対照表	P4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P6
四半期連結損益計算書	P6
四半期連結包括利益計算書	P7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P8
(継続企業の前提に関する注記)	P8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P8
(セグメント情報)	P8
3. 四半期決算補足説明資料	P9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症（以下「感染症」）による厳しい状況が緩和され、企業収益は一部に弱さがみられるものの、総じてみれば改善しており、個人消費及び雇用情勢に持ち直しの動きがみられました。

このような状況の中で、当社は、7月に長期経営計画Dプラン（2022～2030年度）を策定し、「京成グループの事業エリアのみなさまとの共創、及び、日本の玄関口、成田空港の機能強化への寄与を通じ、サステナブルな社会の実現に貢献する」を2030年におけるグループビジョンといたしました。その第1ステップである中期経営計画D1プラン（2022～2024年度）においては、「コロナ禍による低迷から成長軌道へと回帰するとともに、長期ビジョン実現に向けた経営推進体制を整備する」を中期経営目標として掲げ、当社グループは諸施策を推進してまいりました。

また、9月1日付で新京成電鉄株式会社を完全子会社とし、グループ経営体制の強化に努めております。なお、新京成電鉄株式会社のみなし取得日を当第2四半期連結会計期間末としているため、当第2四半期連結累計期間の経営成績に同社の業績は含まれておりません。

以上の結果、営業収益は1,190億3千1百万円（前年同期比14.3%増）となり、営業利益は44億1百万円（前年同期は営業損失37億2千7百万円）となりました。経常利益は、103億2千9百万円（前年同期は経常損失68億1百万円）となり、新京成電鉄株式会社を完全子会社としたことに伴い発生した負ののれん発生益の計上により、親会社株主に帰属する四半期純利益は155億9千7百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失77億8千6百万円）となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

<運輸業>

感染症対策として、政府公表の基本的対処方針等を踏まえ、従業員のマスク着用、消毒、換気及びお客様が手を触れる箇所を中心とした鉄道・バス車両等への抗菌・抗ウイルス加工を継続して実施しております。

鉄道事業では、安全輸送確保の取り組みとして、スカイライナーをはじめとした有料特急の全列車への警備員の乗車を開始いたしました。また、高架橋の耐震補強工事及び西登戸駅の駅舎建替え工事等を進めました。

大規模工事については、葛飾区内の押上線連続立体化工事において、京成立石駅の仮駅舎新設工事を推進したほか、国土交通省と進めている「一級河川荒川水系荒川改修事業に伴う京成本線荒川橋梁及び綾瀬川橋梁架替工事」において、準備工事に着手するなど、各種工事を推進いたしました。

営業面では、イブニングライナー全列車でご利用いただける「イブニングPASS」を新たに発売するとともに、「モーニングPASS」をサービスアップし、列車指定制からモーニングライナー全列車でご利用いただけるよう変更いたしました。また、人気タレントが演じる「京成王子」をモチーフにした特別装飾のスカイライナーを運行し、オリジナルグッズのプレゼントキャンペーンを実施いたしました。このほか、北総鉄道株式会社においては、創立50周年を記念して、また、関東鉄道株式会社においては、創立100周年を記念して、各種イベントを開催いたしました。

バス事業では、感染症の影響による需要の減少等を踏まえ、高速バス路線において運休・減便を実施しておりますが、一部路線の運行を再開しております。また、「バスターミナル東京八重洲」の開業に伴い、東京駅発着の一部路線において同ターミナルへの乗り入れを開始いたしました。一般乗合バス路線においては、市川駅南口～西船橋駅南口間で新規路線の運行を開始したほか、需要の変化に応じたダイヤ改正を実施いたしました。

タクシー事業では、京成タクシー船橋株式会社、京成タクシー習志野株式会社、京成タクシー市川株式会社、京成タクシーかずさ株式会社及び株式会社舞浜リゾートキャブにおいて、事前確定運賃サービスを開始し、利便性及びサービス向上に努めました。

以上の結果、営業収益は674億9千8百万円（前年同期比19.7%増）となり、営業利益は5億9千9百万円（前年同期は営業損失74億5千9百万円）となりました。

<流通業>

ストア業では、株式会社京成ストアにおいて、顧客ニーズに対応すべく、新たな決済手段としてバーコード決済をリブレ京成全店舗で導入いたしました。また、株式会社コミュニティー京成において、フランチャイズ契約に基づき「リトルマーメイド堀切菖蒲園駅店」の営業を開始いたしました。

その他流通業では、ユアエルム八千代台店において、「リブレ京成八千代台ユアエルム店」のリニューアルや、生活利便施設等の新規テナントを誘致するなど、改装を実施し、集客力の向上を図りました。

以上の結果、営業収益は248億8千万円（前年同期比6.4%増）となりましたが、営業損失は1億9千9百万円（前年同期は営業損失1億6百万円）となりました。

<不動産業>

不動産賃貸業では、市川市市川南の賃貸住宅等が稼働したほか、千葉市中央区において高齢者施設の建設工事を推進しております。

不動産販売業では、中高層住宅「パークホームズ千葉」の販売及び引き渡しを行ったほか、来年度に引き渡し予定の中高層住宅「サングランデ千葉 都賀テラス」の販売を開始いたしました。また、京成不動産株式会社において、「KEISEI×BIZcomfort渋谷南」のシェアオフィスをオープンいたしました。

以上の結果、営業収益は135億5千4百万円（前年同期比0.0%減）となりましたが、営業利益は47億5千3百万円（前年同期比7.7%増）となりました。

<レジャー・サービス業>

レジャー・サービス業では、京成ホテルミラマーレにおいて、開業20周年を記念して、京成の電車をテーマにしたコンセプトルームを新設するなど新規顧客の獲得に努めました。また、京成トラベルサービス株式会社において、感染症の状況を考慮した上で、京成線内を特別行路で運行する各種のイベント列車ツアー等、多様な旅行商品の企画・催行により、収益の確保に努めました。さらに、株式会社イウォレ京成において、フランチャイズ契約に基づき、「サブウェイ 成田空港第1ターミナル南ウイング店」及び「サブウェイ 京成千葉駅店」の営業を開始いたしました。

以上の結果、営業収益は52億9千4百万円（前年同期比56.1%増）となり、営業損失は8億6百万円（前年同期は営業損失9億9千1百万円、1億8千4百万円の改善）となりました。

<建設業>

建設業では、鉄道施設改良工事や当社グループ外から受注している各種工事を実施いたしました。

以上の結果、営業収益は122億2千3百万円（前年同期比2.9%増）となりましたが、営業利益は1億9千9百万円（前年同期比47.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産合計は、前期末比499億3千万円（5.5%）増の9,502億7千7百万円となりました。これは、新京成電鉄株式会社の連結子会社化等によるものです。

負債合計は、前期末比377億8千9百万円（7.4%）増の5,504億3千万円となりました。これは、社債の発行等により有利子負債が増加したことによるものです。

純資産合計は、前期末比121億4千1百万円（3.1%）増の3,998億4千6百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により「利益剰余金」が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期における連結業績予想については、負ののれん発生益等の影響はあるものの、新型コロナウイルス感染症に対する水際対策の緩和が業績に与える影響を慎重に見極める必要があることから、現時点での修正は行いません。

今後、予想値の精査を行い、連結業績予想の修正が必要と判断した場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,513	44,048
受取手形、売掛金及び契約資産	24,739	24,829
分譲土地建物	5,266	5,414
商品	2,164	2,218
仕掛品	182	133
原材料及び貯蔵品	3,348	4,084
その他	11,960	12,591
貸倒引当金	△21	△15
流動資産合計	73,152	93,306
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	297,169	318,634
機械装置及び運搬具(純額)	24,387	29,065
土地	191,178	203,461
リース資産(純額)	34,151	31,443
建設仮勘定	36,937	40,110
その他(純額)	3,183	3,592
有形固定資産合計	587,008	626,309
無形固定資産		
リース資産	1,008	980
その他	11,471	11,439
無形固定資産合計	12,480	12,419
投資その他の資産		
投資有価証券	204,162	193,208
長期貸付金	337	155
繰延税金資産	18,812	20,206
その他	4,086	4,317
貸倒引当金	△165	△175
投資その他の資産合計	227,234	217,712
固定資産合計	826,722	856,441
繰延資産	471	529
資産合計	900,346	950,277

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,320	15,077
短期借入金	55,682	60,141
コマーシャル・ペーパー	4,000	3,000
1年内償還予定の社債	—	20,000
リース債務	6,486	5,704
未払法人税等	1,811	1,663
賞与引当金	3,345	3,917
その他	58,681	63,958
流動負債合計	148,328	173,464
固定負債		
社債	110,450	110,450
長期借入金	140,189	150,401
鉄道・運輸機構長期未払金	40,505	38,991
リース債務	22,840	20,885
繰延税金負債	2,035	2,137
退職給付に係る負債	36,322	40,028
その他	11,969	14,072
固定負債合計	364,313	376,966
負債合計	512,641	550,430
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,803	36,803
資本剰余金	28,410	34,335
利益剰余金	309,843	325,088
自己株式	△6,184	△13,639
株主資本合計	368,873	382,588
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,210	2,900
繰延ヘッジ損益	38	29
退職給付に係る調整累計額	△1,358	△1,182
その他の包括利益累計額合計	890	1,747
非支配株主持分	17,941	15,510
純資産合計	387,705	399,846
負債純資産合計	900,346	950,277

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
営業収益	104,156	119,031
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	89,069	93,583
販売費及び一般管理費	18,813	21,046
営業費合計	107,883	114,629
営業利益又は営業損失(△)	△3,727	4,401
営業外収益		
受取利息	114	119
受取配当金	159	120
持分法による投資利益	—	5,735
雇用調整助成金	1,004	324
雑収入	1,050	1,199
営業外収益合計	2,329	7,500
営業外費用		
支払利息	1,203	1,181
持分法による投資損失	3,811	—
雑支出	388	389
営業外費用合計	5,403	1,571
経常利益又は経常損失(△)	△6,801	10,329
特別利益		
負ののれん発生益	—	9,214
工事負担金等受入額	59	329
投資有価証券売却益	300	204
その他	74	24
特別利益合計	434	9,772
特別損失		
段階取得に係る差損	—	1,470
固定資産圧縮損	128	300
固定資産除却損	325	119
その他	—	18
特別損失合計	454	1,908
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△6,821	18,194
法人税、住民税及び事業税	945	1,528
法人税等調整額	△295	547
法人税等合計	649	2,075
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△7,470	16,118
非支配株主に帰属する四半期純利益	315	521
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△7,786	15,597

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△7,470	16,118
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△361	775
退職給付に係る調整額	140	229
持分法適用会社に対する持分相当額	219	△105
その他の包括利益合計	△1	899
四半期包括利益	△7,472	17,018
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△7,791	16,455
非支配株主に係る四半期包括利益	319	563

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は2022年4月28日開催の取締役会決議等に基づき、自己株式6,860,369株の取得を行いました。また、2022年9月1日に、当社を株式交換完全親会社、新京成電鉄株式会社を株式交換完全子会社とする株式交換を行い、自己株式4,982,953株の処分を行っております。上記等の結果、当第2四半期連結累計期間において、資本剰余金が5,924百万円、自己株式が7,455百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が34,335百万円、自己株式が13,639百万円となっております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・ サービス業	建設業	その他 の事業			
営業収益									
(1) 外部顧客に対する 営業収益	56,100	23,188	10,963	2,757	8,871	2,274	104,156	—	104,156
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	282	198	2,591	635	3,011	1,009	7,729	△7,729	—
計	56,382	23,387	13,555	3,392	11,883	3,284	111,886	△7,729	104,156
セグメント利益 又は損失(△)	△7,459	△106	4,413	△991	380	68	△3,694	△32	△3,727

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去及びのれん償却額であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・ サービス業	建設業	その他 の事業			
営業収益									
(1) 外部顧客に対する 営業収益	67,195	24,613	10,508	4,436	9,710	2,567	119,031	—	119,031
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	302	267	3,046	858	2,513	1,552	8,539	△8,539	—
計	67,498	24,880	13,554	5,294	12,223	4,119	127,571	△8,539	119,031
セグメント利益 又は損失(△)	599	△199	4,753	△806	199	48	4,594	△192	4,401

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額は、子会社株式の取得関連費用、セグメント間取引消去及びのれん償却額であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 四半期決算補足説明資料

I 連結損益計算書

- ・新型コロナウイルス感染症の影響緩和により移動需要が回復し、増収、利益計上
 ・新京成電鉄株式会社を連結子会社化したことに伴い特別利益(負ののれん発生益)を92億円計上

単位:百万円、%		2021.2Q 実績	2022.2Q 実績	増減	率
運輸業	営業収益	56,382	67,498	11,115	19.7
	営業利益	△7,459	599	8,058	-
流通業	営業収益	23,387	24,880	1,493	6.4
	営業利益	△106	△199	△93	-
不動産業	営業収益	13,555	13,554	△0	△0.0
	営業利益	4,413	4,753	339	7.7
レジャー・サービス業	営業収益	3,392	5,294	1,901	56.1
	営業利益	△991	△806	184	-
建設業	営業収益	11,883	12,223	340	2.9
	営業利益	380	199	△181	△47.6
その他の事業	営業収益	3,284	4,119	835	25.4
	営業利益	68	48	△19	△29.1
小計	営業収益	111,886	127,571	15,685	14.0
	営業利益	△3,694	4,594	8,289	-
連結修正	営業収益	△7,729	△8,539	△810	-
	営業利益	△32	△192	△160	-
連結	営業収益	104,156	119,031	14,875	14.3
	営業利益	△3,727	4,401	8,128	-
営業外収益		2,329	7,500	5,170	222.0
営業外費用		5,403	1,571	△3,831	△70.9
経常利益		△6,801	10,329	17,131	-
特別利益		434	9,772	9,338	-
特別損失		454	1,908	1,453	320.1
税金等調整前四半期純利益		△6,821	18,194	25,015	-
法人税	法人税等	945	1,528	583	61.7
	同調整額	△295	547	842	-
	計	649	2,075	1,425	219.4
四半期純利益		△7,470	16,118	23,589	-
非支配株主に帰属する四半期純利益		315	521	205	65.2
親会社株主に帰属する四半期純利益		△7,786	15,597	23,383	-

営業外収益

持分法による投資利益 — **5,735**

営業外費用

持分法による投資損失 3,811 —

特別利益

負ののれん発生益 — **9,214**

特別損失

段階取得に係る差損 — **1,470**

Ⅰ主要セグメントの内訳

・運輸業

単位:百万円、%		2021.2Q 実績	2022.2Q 実績	増減	率
鉄道事業	営業収益	26,608	31,886	5,277	19.8
	営業利益	△ 3,657	272	3,929	—
バス事業	営業収益	18,603	22,071	3,468	18.6
	営業利益	△ 2,748	261	3,010	—
タクシー事業	営業収益	11,170	13,539	2,369	21.2
	営業利益	△ 1,053	65	1,118	—
運輸業	営業収益	56,382	67,498	11,115	19.7
	営業利益	△ 7,459	599	8,058	—

・流通業

単位:百万円、%		2021.2Q 実績	2022.2Q 実績	増減	率
ストア業	営業収益	15,984	16,896	911	5.7
	営業利益	104	△ 34	△ 138	—
百貨店業	営業収益	5,031	5,327	296	5.9
	営業利益	△ 229	△ 196	33	—
その他	営業収益	2,370	2,655	285	12.0
	営業利益	19	31	12	66.3
流通業	営業収益	23,387	24,880	1,493	6.4
	営業利益	△ 106	△ 199	△ 93	—

・不動産業

単位:百万円、%		2021.2Q 実績	2022.2Q 実績	増減	率
賃貸業	営業収益	9,497	10,143	645	6.8
	営業利益	4,166	4,577	411	9.9
販売業	営業収益	2,161	1,209	△ 952	△44.1
	営業利益	140	72	△ 68	△48.4
管理業	営業収益	1,895	2,202	306	16.2
	営業利益	106	103	△ 3	△3.0
不動産業	営業収益	13,555	13,554	△ 0	△0.0
	営業利益	4,413	4,753	339	7.7

(注)京成不動産株式会社について、2022年度期首より内訳を販売業から賃貸業に変更しており、2021年度第2四半期の数値を変更後の内訳に組み替えて比較しております。

■鉄道事業 輸送人員及び旅客運輸収入内訳表(単体)

単位:千人、百万円、%		2021.2Q 実績	2022.2Q 実績	増減	率
輸送人員	定期	69,493	73,468	3,975	5.7
	定期外	41,927	50,831	8,904	21.2
	計	111,420	124,299	12,879	11.6
	うち成田空港発着	(3,874)	(5,923)	(2,049)	(52.9)
	うち有料特急	(617)	(1,385)	(768)	(124.5)
旅客運輸収入	定期	8,464	8,846	382	4.5
	定期外	10,992	15,249	4,256	38.7
	計	19,457	24,096	4,639	23.8
	うち成田空港発着	(2,553)	(5,092)	(2,539)	(99.5)
	うち有料特急	(486)	(1,302)	(815)	(167.7)

[参考]2019年度第2四半期との比較

単位:千人、百万円、%		2019.2Q 実績	2022.2Q 実績	増減	率
輸送人員	定期	91,001	73,468	△ 17,533	△19.3
	定期外	62,229	50,831	△ 11,398	△18.3
	計	153,230	124,299	△ 28,931	△18.9
	うち成田空港発着	(11,542)	(5,923)	(△5,619)	(△48.7)
	うち有料特急	(3,169)	(1,385)	(△1,784)	(△56.3)
旅客運輸収入	定期	11,249	8,846	△ 2,402	△21.4
	定期外	22,860	15,249	△ 7,610	△33.3
	計	34,109	24,096	△ 10,013	△29.4
	うち成田空港発着	(11,225)	(5,092)	(△6,132)	(△54.6)
	うち有料特急	(3,038)	(1,302)	(△1,735)	(△57.1)

(注)輸送人員:千人未満を四捨五入して表示しております。

旅客運輸収入:百万円未満を切り捨てて表示しております。

以上